

KIP

KIP Scan Utility

取扱説明書

-
- Microsoft、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
 - その他本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。
 - 取扱説明書の一部または全部を桂川電機株式会社の書面による許可なく複写、複製することは、その形態を問わず禁じます。
 - 取扱説明書の内容は、予告なく変更することがあります。

All Rights Reserved, Copyright (c) 2012 KATSURAGAWA ELECTRIC CO., LTD.

はじめに

KIP Scan Utility は、KIP スキャナーを使用して原稿のスキャンを行ない、画像ファイルを生成することを目的とします。また、スキャンしたファイルを KIP プリンターへ印刷することもできます。

本書では、KIP Scan Utility のインストールや表示内容、操作方法に関する情報を記載しています。初めてお使いになる場合や操作手順が分からなかった場合に、ご活用ください。

<空白ページ>

<目次>

第1章 ソフトウェアの概要	7
第2章 動作環境	9
2.1 動作環境	10
2.2 対応スキャナー	11
2.3 対応プリンター／複合機.....	12
2.4 対応フォーマット	13
第3章 インストール	15
3.1 インストール	16
3.2 アンインストール	19
第4章 基本操作	21
4.1 プログラムの起動と終了	22
4.1.1 KIP Scan Utility を起動する	22
4.1.2 KIP Scan Utility を終了する	23
4.2 画面の構成	24
4.2.1 メインウィンドウ	24
4.3 KIP Scan Utility を使用する.....	25
4.3.1 【スキャン】通常のスキャン	25
4.3.2 【スキャン】再スキャン	27
4.3.3 【スキャン】マルチページのスキャン	29
4.3.3 【印刷】プリント	35
第5章 機能詳細	37
5.1 「メインウィンドウ」の詳細	38
5.1.1 「スキャン設定」画面	39
5.1.2 「プリント設定」画面	45
5.2 「オプション」画面の詳細.....	47
5.3 「用紙サイズ編集」画面の詳細	48
5.3.1 用紙サイズリスト.....	49
5.3.2 用紙サイズの判断について.....	50
5.4 「スキャン用紙サイズ編集」画面の詳細	51
5.4.1 用紙サイズリスト.....	52
5.5 「スキャナー設定」画面の詳細	53
5.6 「プリンター設定」画面の詳細	54
5.7 「外部ビューア」画面の詳細	55
付録	57

FAQ	58
お問い合わせ先	61

第1章 ソフトウェアの概要

KIP Scan Utility は、KIP スキャナーを使用して原稿のスキャンを行ない、画像ファイルを生成することを目的とします。

第2章 動作環境

2.1 動作環境

KIP Scan Utility は、以下の条件を満たす環境で動作します。

- IBM PC/AT もしくはその互換機
- OS
 - 日本語 Microsoft Windows 7
 - 日本語 Microsoft Windows Vista
 - 日本語 Microsoft Windows XP
- CPU
 - 使用 OS が推奨する環境以上
- メモリ容量
 - 使用 OS が推奨する環境以上
- ハードディスク
 - 10MB 以上の空き容量
- デスクトップ環境
 - 解像度 1024 × 768 ピクセル以上、True カラー(24bit)以上を推奨

注意

KIP Scan Utility のインストールには、「コンピューターの管理者(Administrator)」権限が必要です。

2.2 対応スキャナー

KIP Scan Utility は下記のスキャナーに対応します。

■ KIP スキャナー

KIP 720

KIP 2300

KIP 2200

2.3 対応プリンター／複合機

KIP Scan Utility は下記のプリンター／複合機に対応します。

■ KIP プリンター

KIP 9900 シリーズ
KIP 7900 シリーズ
KIP 7700 シリーズ
KIP 7100 シリーズ
KIP 700m シリーズ
KIP 7000/7200 シリーズ
KIP 5000/5200 シリーズ
KIP 3100 シリーズ
KIP 3000 シリーズ
KIP 1520 シリーズ

■ Starprint シリーズ

Starprint8000 シリーズ
Starprint6000II シリーズ
Starprint3000 シリーズ
Starprint2400 シリーズ

2.4 対応フォーマット

KIP Scan Utility は下記のフォーマットに対応します。

■ 出力フォーマット

形式	詳細
TIFF	圧縮は CCITT GROUP 4、CCITT GROUP 3、非圧縮、PackBits、LZW カラーには対応していません。
PDF	圧縮は CCITT GROUP 4 カラー、セキュリティ設定には対応していません。

■ 入力フォーマット

形式	詳細
TIFF	圧縮は CCITT GROUP 4、CCITT GROUP 3、非圧縮、PackBits、LZW カラーには対応していません。
PDF	KIP Scan Utility が作成した PDF のみ カラー、セキュリティ設定には対応していません。

<空白ページ>

第3章 インストール

3.1 インストール

KIP Scan Utility をインストールします。

注意

KIP Scan Utility のインストールには、「コンピューターの管理者(Administrator)」権限が必要です。

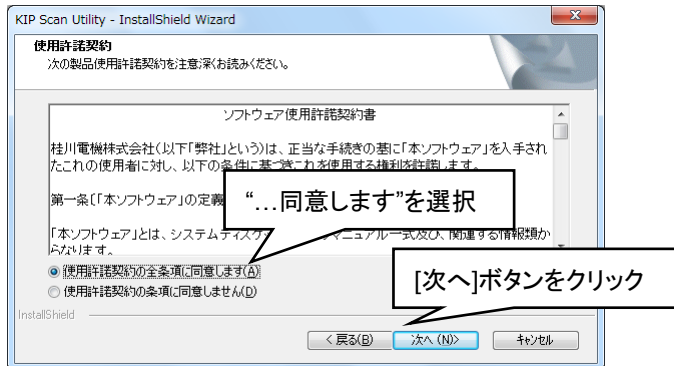
確認

スキャナーの動作に必要なデバイスドライバーは、各スキャナーの取扱説明書を参考にインストールしてください。

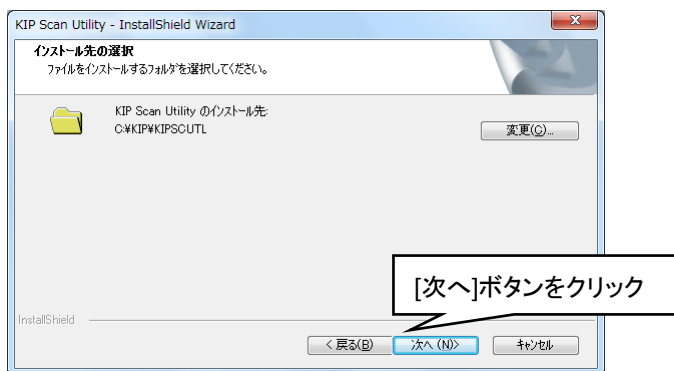
1. 「KIP Scan Utility」と書かれたインストールメディアをドライブにセットします。
2. インストールメディアの内容を参照します。
3. 「SetupKIPSCUTL.exe」をダブルクリックします。
4. インストーラーの初期画面を表示しますので、[次へ(N)>]ボタンをクリックします。



5. 「使用許諾契約」画面を表示しますので、「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択して、[次へ(N)>]ボタンをクリックします。

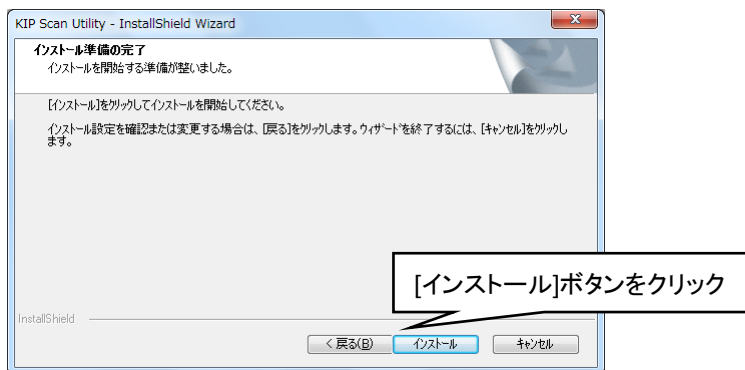


6. 「インストール先の選択」画面を表示しますので、インストール先のフォルダーを確認します。必要に応じてインストール先を変更して、[次へ(N)>]ボタンをクリックします。

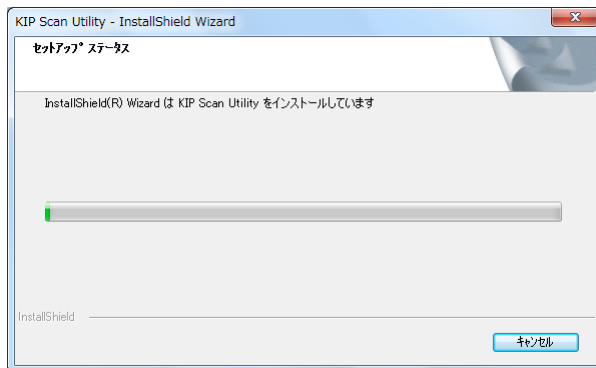


初期値は “C:¥KIP¥KIP Scan Utility” です。

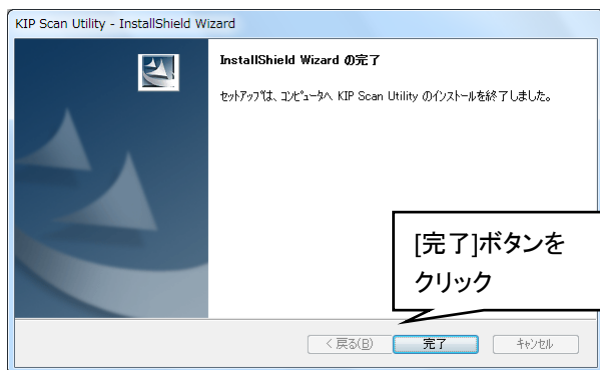
7. 「インストール準備の完了」画面を表示しますので、[インストール]ボタンをクリックします。



8. ファイルのコピーが開始します。



9. インストール完了の画面を表示しますので、[完了]ボタンをクリックします。



以上で KIP Scan Utility のインストールは終了です。

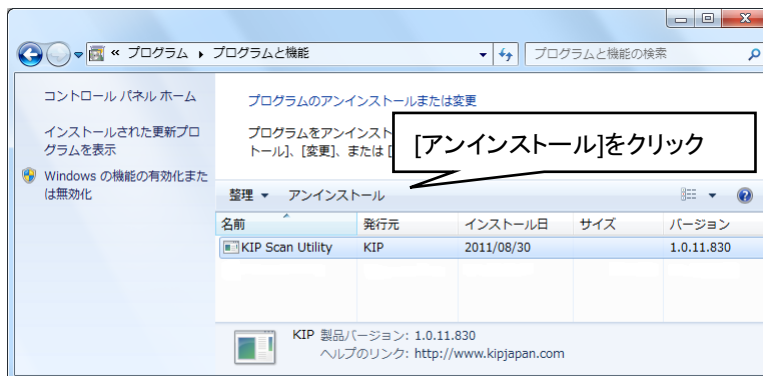
3.2 アンインストール

KIP Scan Utility をアンインストールします。

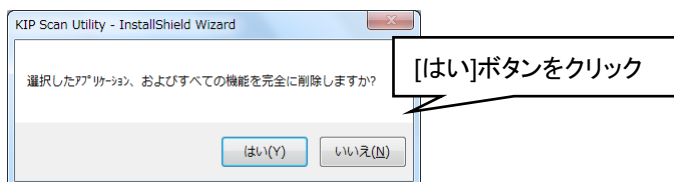
注意

KIP Scan Utility のアンインストールには、「コンピュータの管理者(Administrator)」権限が必要です。

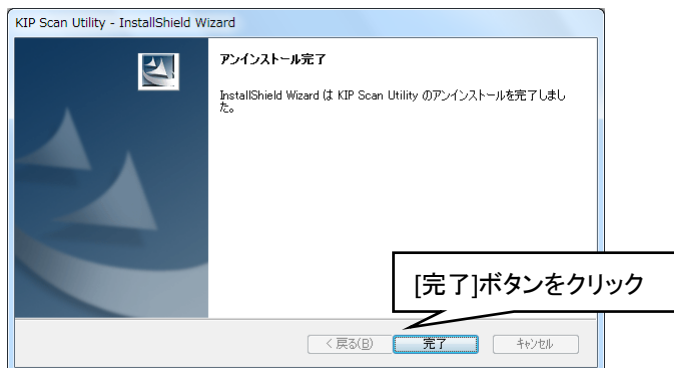
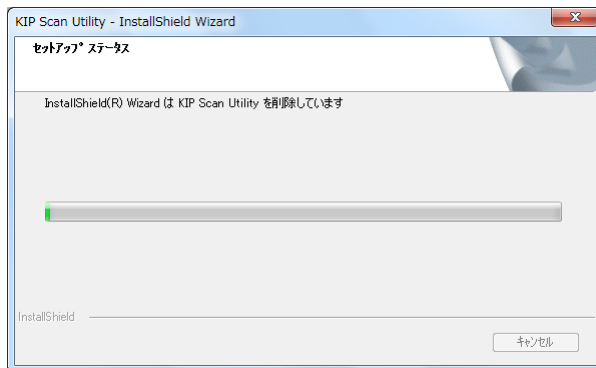
1. コントロールパネルを開きます。
2. [プログラム] – [プログラムのアンインストール]を選択します。
3. 一覧から、「KIP Scan Utility」を選択して、[アンインストール]をクリックします。



4. 削除の確認画面を表示しますので、アンインストールを開始しても良ければ、[はい(Y)]ボタンをクリックします。



5. アンインストールの処理が完了すると、アンインストール完了の画面を表示しますので、[完了]ボタンをクリックします。



以上で KIP Scan Utility のアンインストールは終了です。

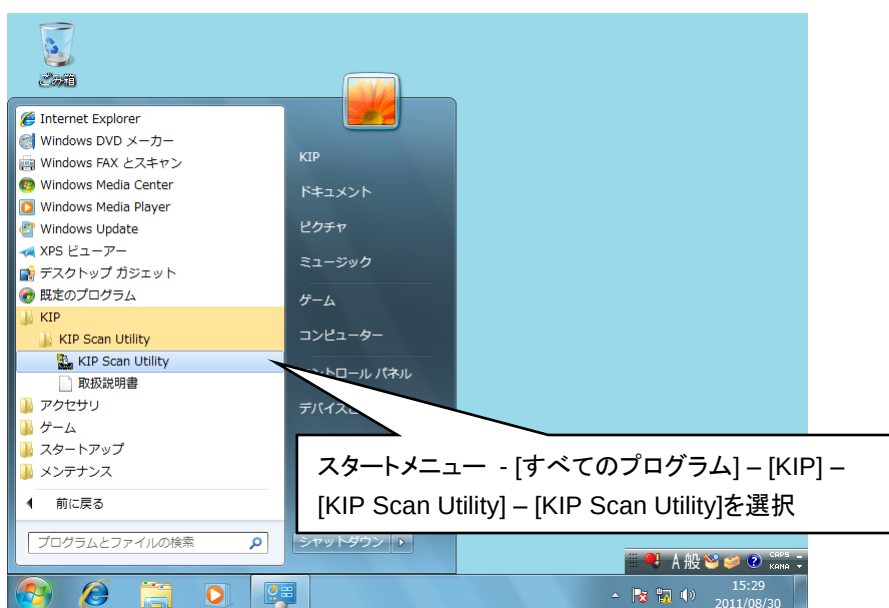
第4章 基本操作

4.1 プログラムの起動と終了

4.1.1 KIP Scan Utility を起動する

ここでは、KIP Scan Utility の起動方法について説明します。

1. スタートメニューから [すべてのプログラム] – [KIP] – [KIP Scan Utility] – [KIP Scan Utility]を選択します。

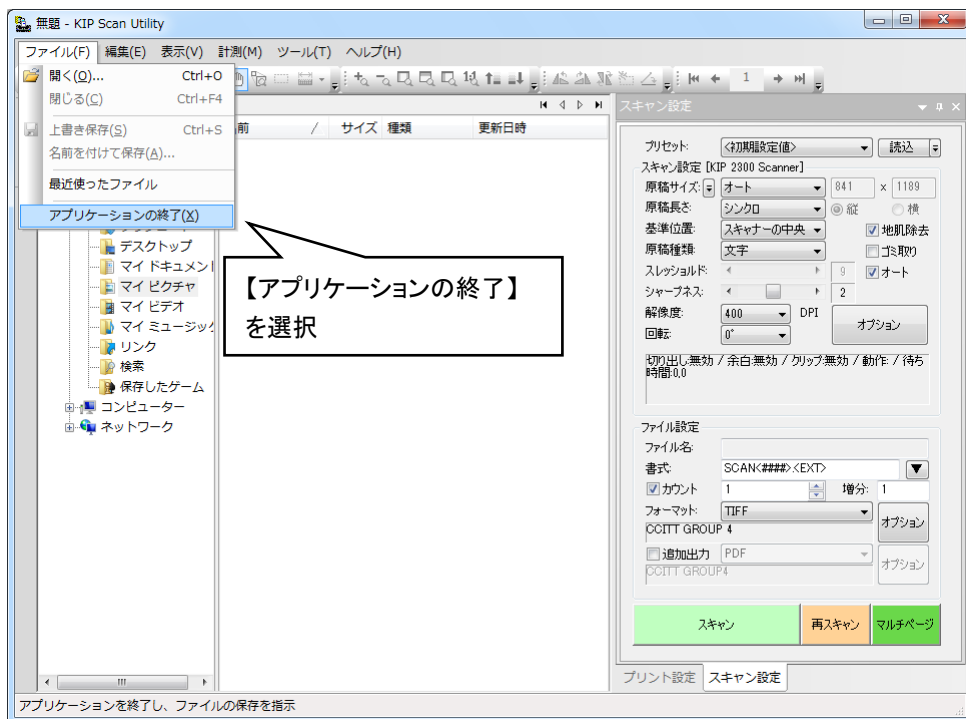


2. KIP Scan Utility が起動します。

4.1.2 KIP Scan Utility を終了する

ここでは、KIP Scan Utility の終了方法について説明します。

1. メインウィンドウ右上の[×]ボタンをクリックするか、メニューバーから【ファイル(F)】－【アプリケーションの終了(X)】を選択します。

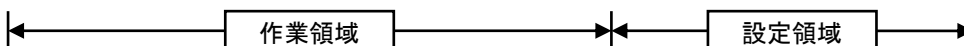
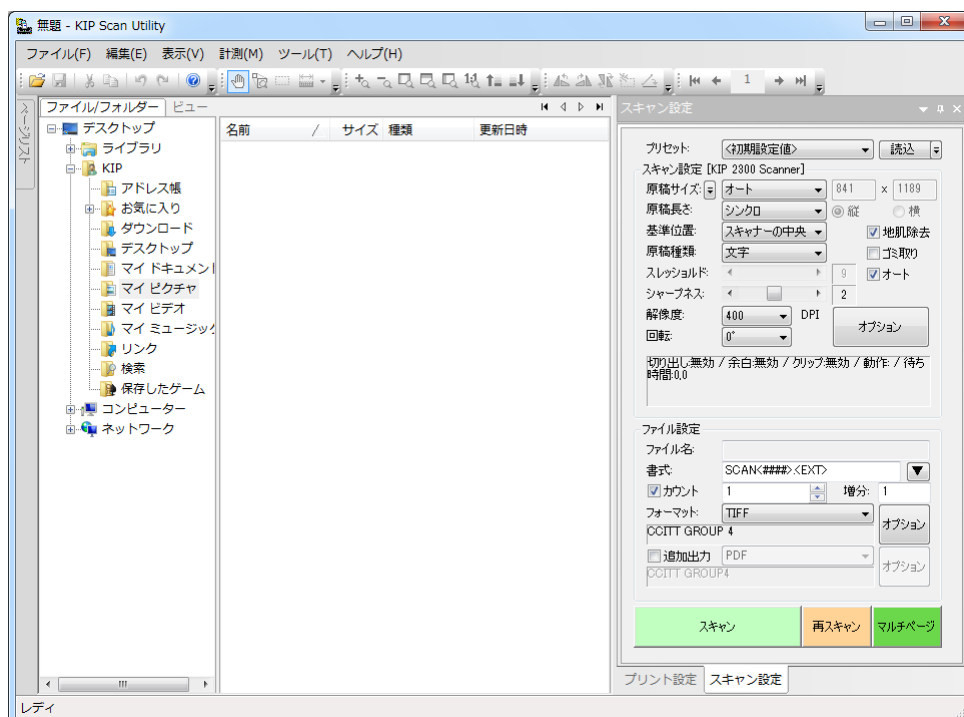


2. KIP Scan Utility が終了します。

4.2 画面の構成

ここでは、KIP Scan Utility の画面の名称や構成について説明します。
各機能の詳細は、「第5章 機能詳細」を参照してください。

4.2.1 メインウィンドウ



【作業領域】

タブをクリックすることで、表示が切り替わります。

名称	説明
ファイル／フォルダー	保存先フォルダーとファイル一覧を表示します。
ビュー	スキャン後の画像を表示します。

【設定領域】

タブをクリックすることで、表示が切り替わります。ドラッグで配置を変更することができます。

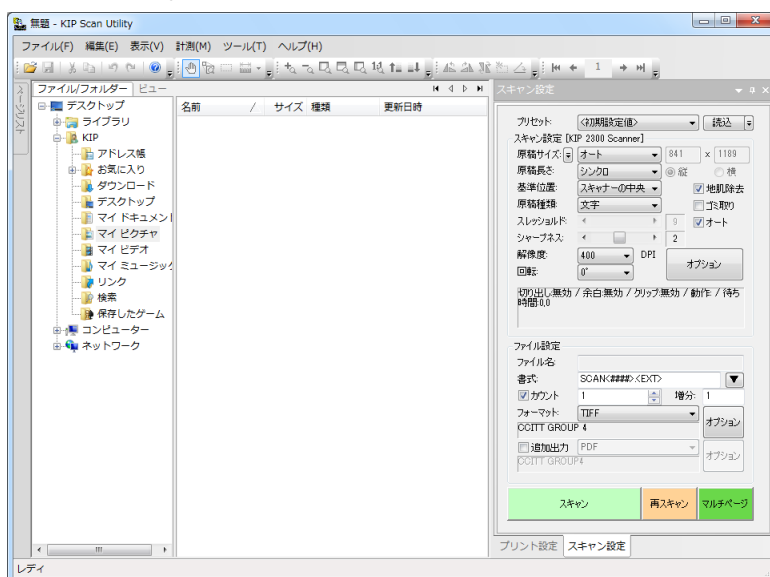
名称	説明
スキャン設定	画像のスキャンとファイルに関する設定を行ないます。
プリント設定	プリントに関する設定を行ないます。

4.3 KIP Scan Utility を使用する

4.3.1 【スキャン】通常のスキャン

ここでは、原稿をスキャンする手順について説明します。

1. KIP Scan Utility を起動します。



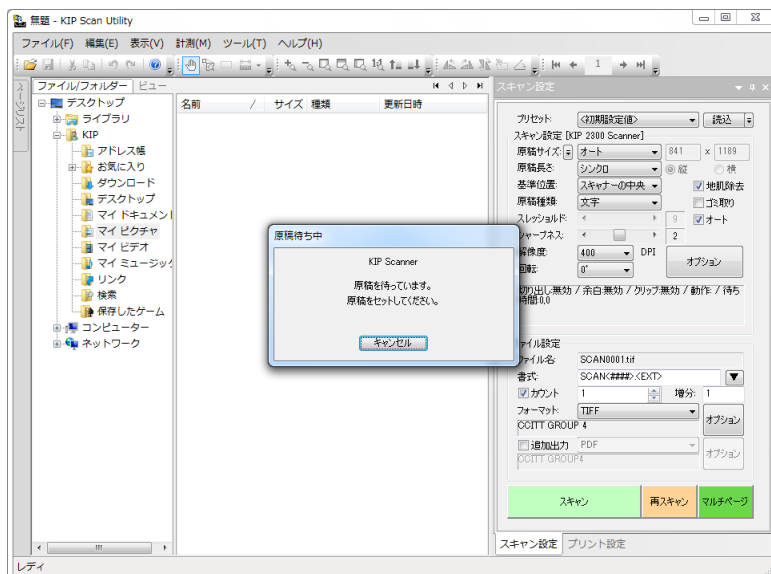
2. 《保存先の決定》
フォルダーツリーから保存先のフォルダーを選択します。
3. 《スキャン設定》
スキャン設定で、原稿サイズ、原稿長さ、原稿基準位置、解像度などを設定します。
ファイル設定で、ファイル名やフォーマットを設定します。

4. 《スキャンの開始》

[スキャン]ボタンをクリックします。

原稿待ち状態になりますので、スキャナーに原稿をセットします。

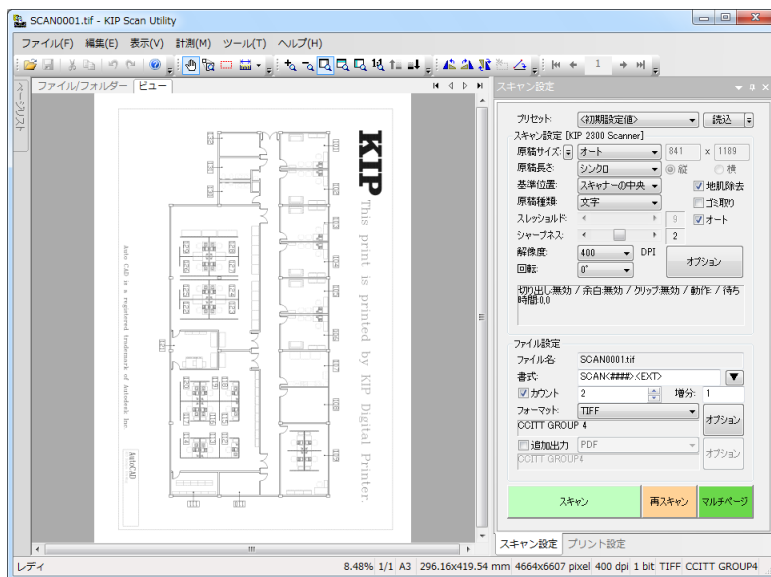
原稿を認識すると自動的にスキャンを開始します。



5. 《画像の保存と表示》

スキャンが完了すると、ファイル設定に従って画像を保存します。

保存が終了すると「ビュー」に画像を表示します。



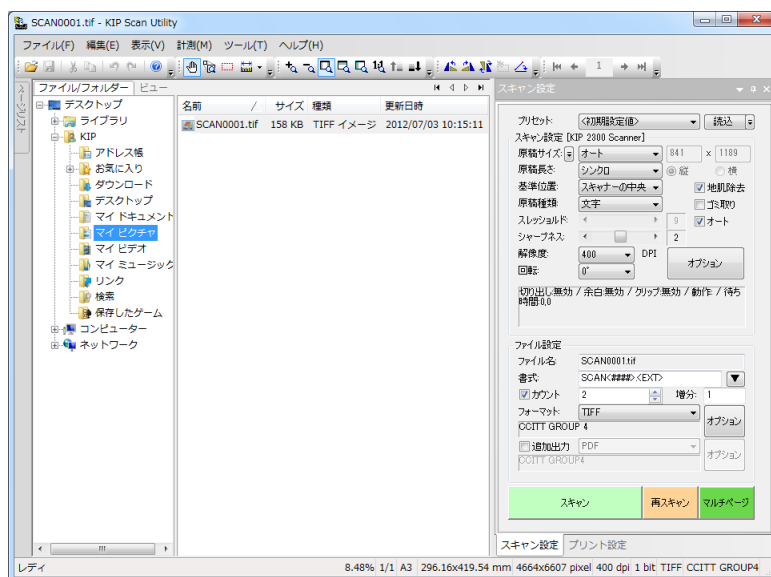
以上で、原稿をスキャンする手順については終了です。

4.3.2 【スキャン】再スキャン

ここでは、原稿を再スキャンする手順について説明します。

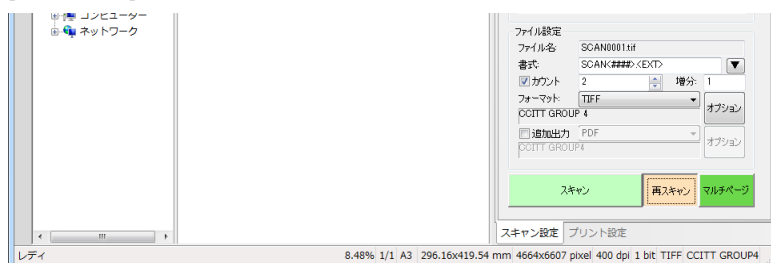
1. 《ファイルの選択》

ファイルリストから再スキャンするファイルを選択します。



2. 《再スキャンを有効》

[再スキャン]ボタンをクリックします。ボタンは押下した状態になります。

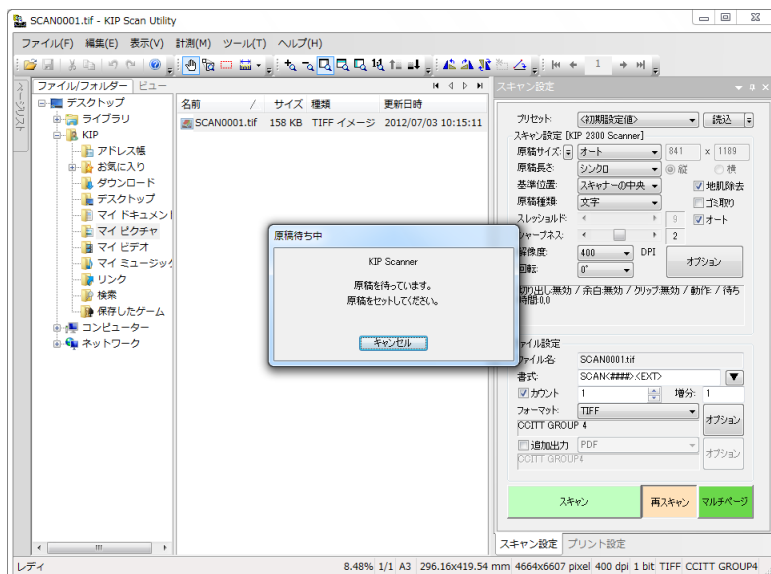


3. 《スキャンの開始》

[スキャン]ボタンをクリックします。

原稿待ち状態になりますので、スキャナーに原稿をセットします。

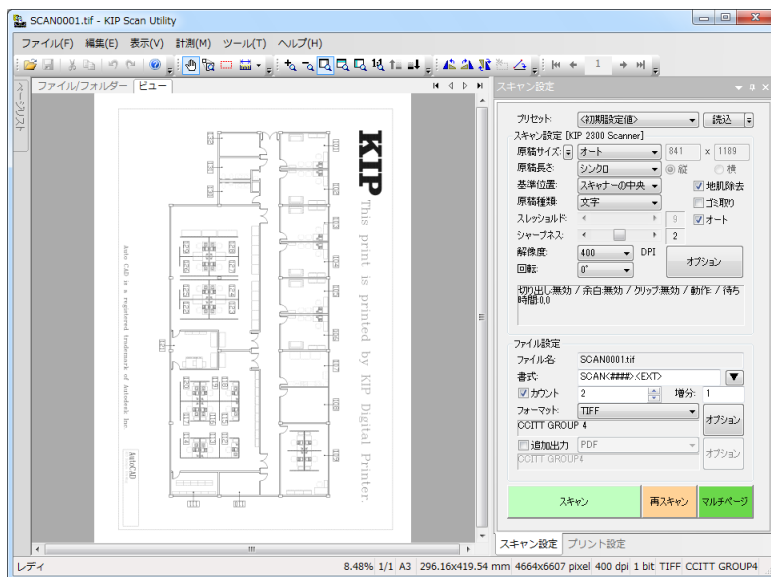
原稿を認識すると自動的にスキャンを開始します。



4. 《画像の保存と表示》

スキャンが完了すると、選択したファイルを上書きします。カウントに変化はありません。

上書きが完了すると「ビュー」に画像を表示します。

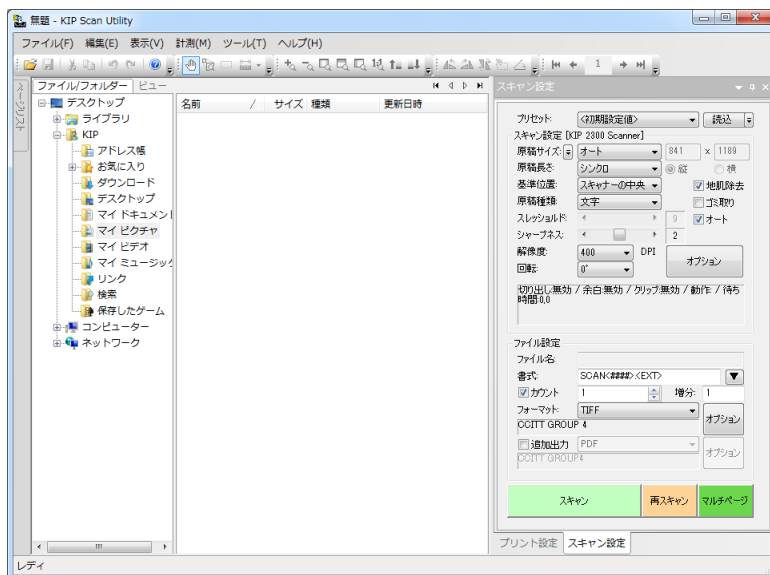


以上で、原稿を再スキャンする手順については終了です。

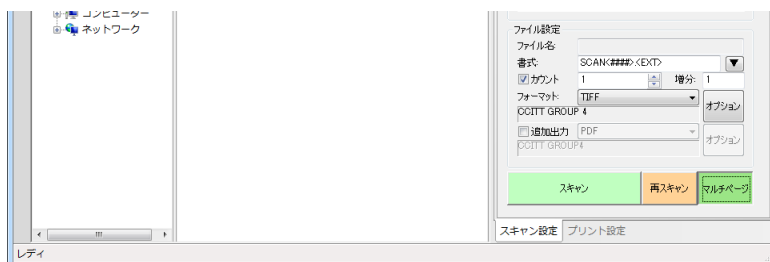
4.3.3 【スキャン】マルチページのスキャン

ここでは、マルチページで原稿をスキャンする手順について説明します。

1. KIP Scan Utility を起動します。



2. 《保存先の決定》
フォルダツリーから保存先のフォルダーを選択します。
3. 《スキャン設定》
スキャン設定で、原稿サイズ、原稿長さ、原稿基準位置、解像度などを設定します。
ファイル設定で、ファイル名やフォーマットを設定します。
4. 《マルチページを有効》
[マルチページ]ボタンをクリックします。ボタンは押下した状態になります。

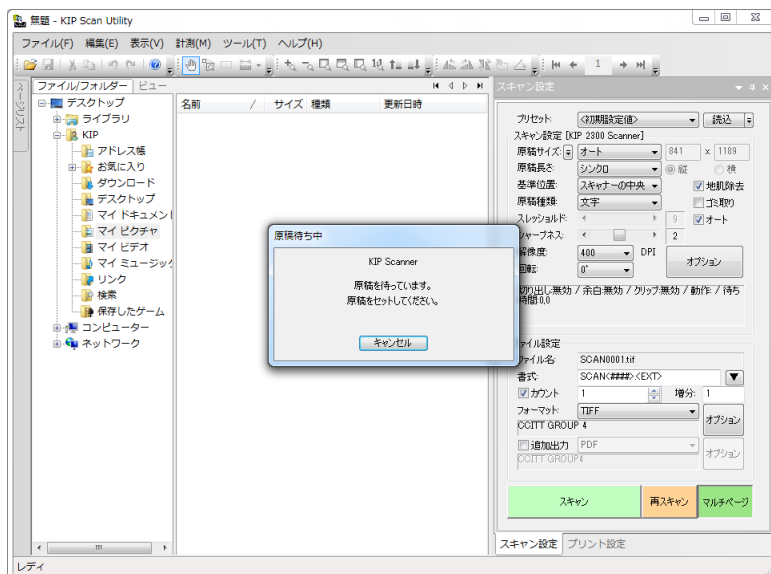


5. 《スキャンの開始》

[スキャン]ボタンをクリックします。

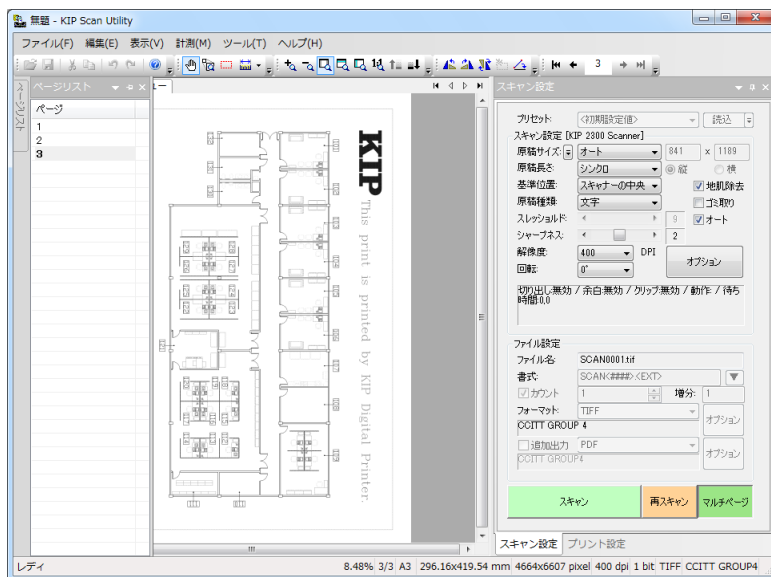
原稿待ち状態になりますので、スキャナーに原稿をセットします。

原稿を認識すると自動的にスキャンを開始します。



6. 《画像の表示》

スキャンが完了すると、ページリストを更新して、「ビュー」に画像を表示します。

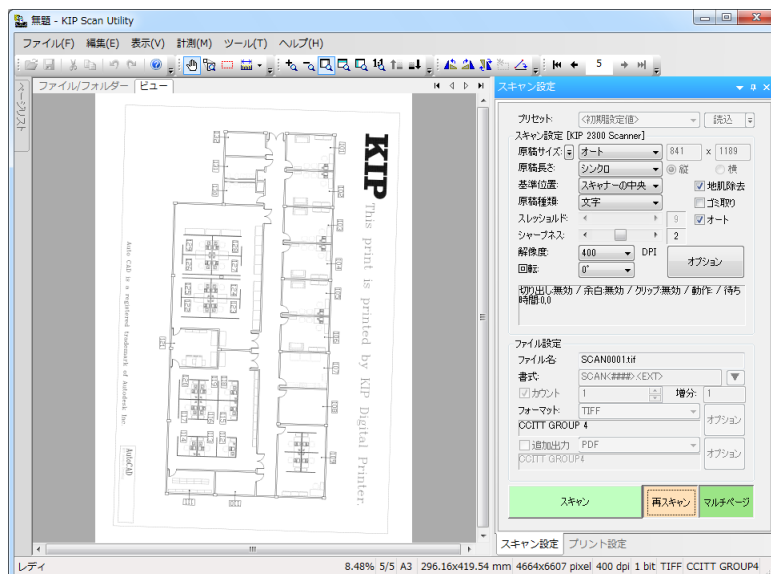


7. 《ページの読み直し》

ページの読み直しが必要な場合は、下記の何れかの手順で作業を行います。

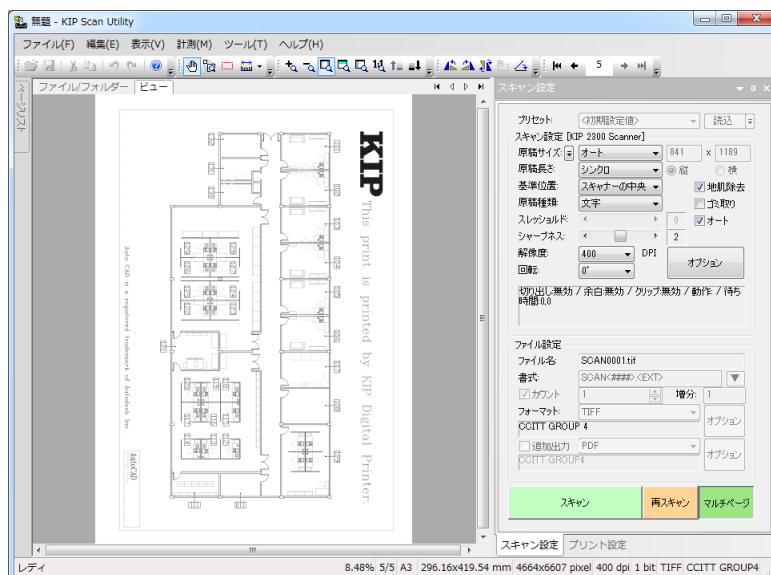
■直前のページを読み直す

[再スキャン]ボタンをクリックします。ボタンは押下した状態になります。



[スキャン]ボタンをクリックして原稿を読み込みます。

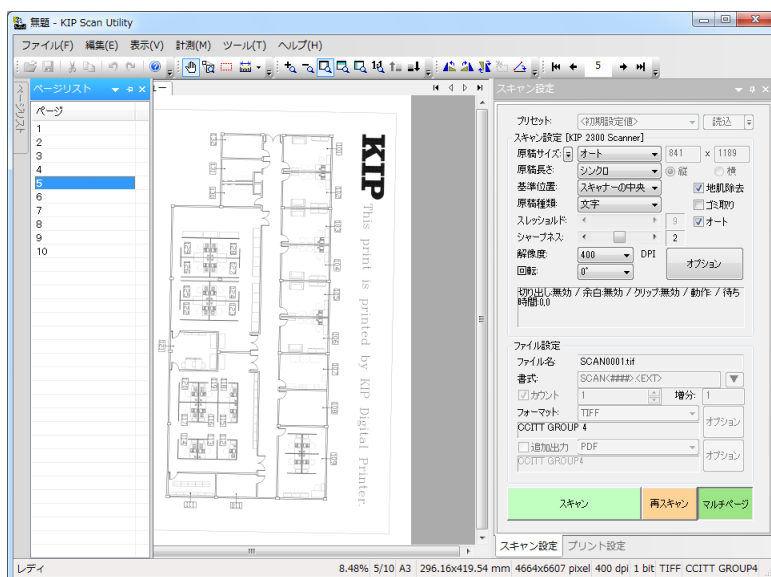
スキャンが完了すると、該当ページの画像を置き換えて、「ビュー」に画像を表示します。



■任意のページを読み直す

ファイルリストから読み直すページをダブルクリックします。

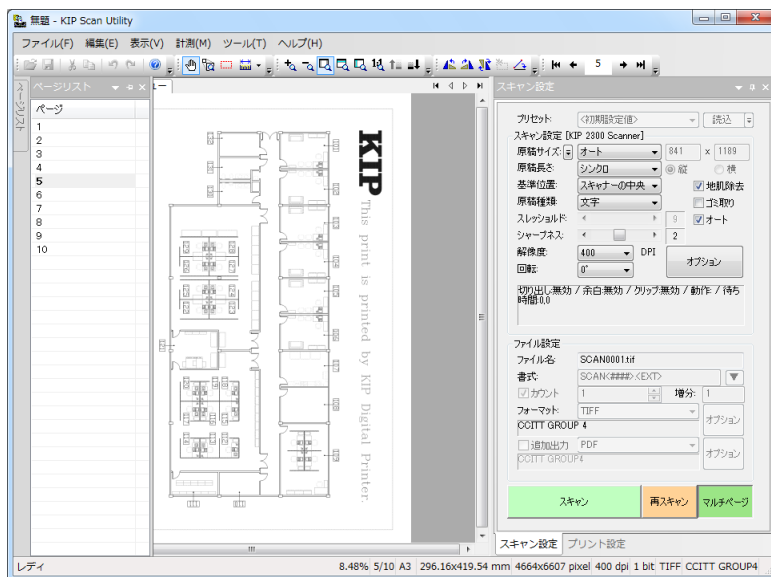
該当ページを読み込んで「ビュー」に画像を表示します。



[再スキャン]ボタンをクリックします。ボタンは押下した状態になります。

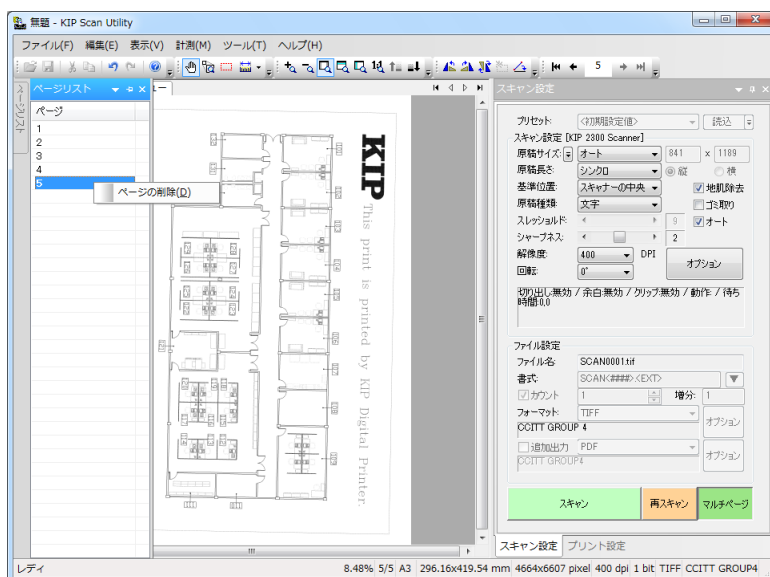
[スキャン]ボタンをクリックして原稿を読み込みます。

スキャンが完了すると、該当ページの画像を置き換えて、「ビュー」に画像を表示します。

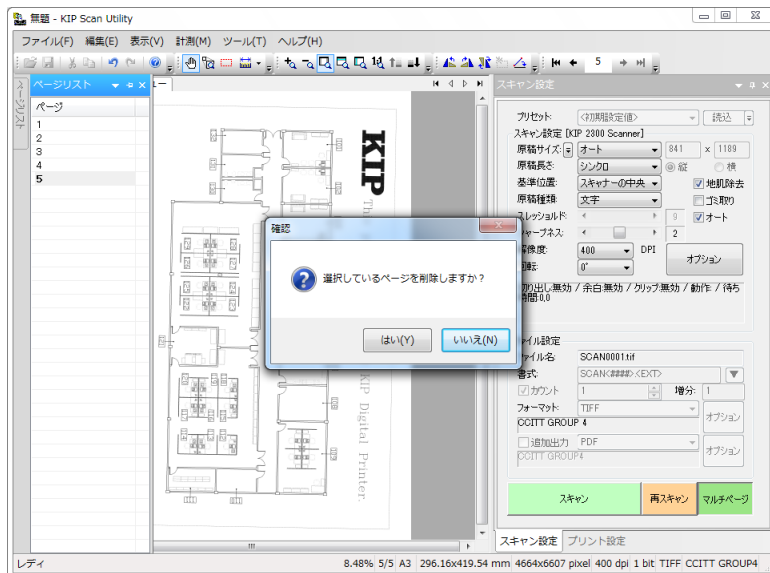


■不要なページを削除して読み直す

ページリストから不要なページを選択します。右クリックで表示するメニューから【ページの削除】を選択します。

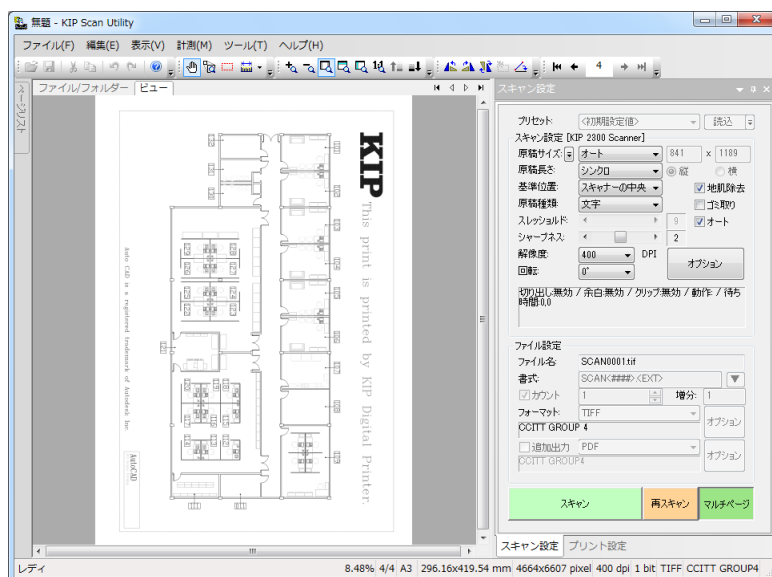


確認画面を表示しますので、[はい]ボタンをクリックします。



選択したページを削除して、画面を更新します。

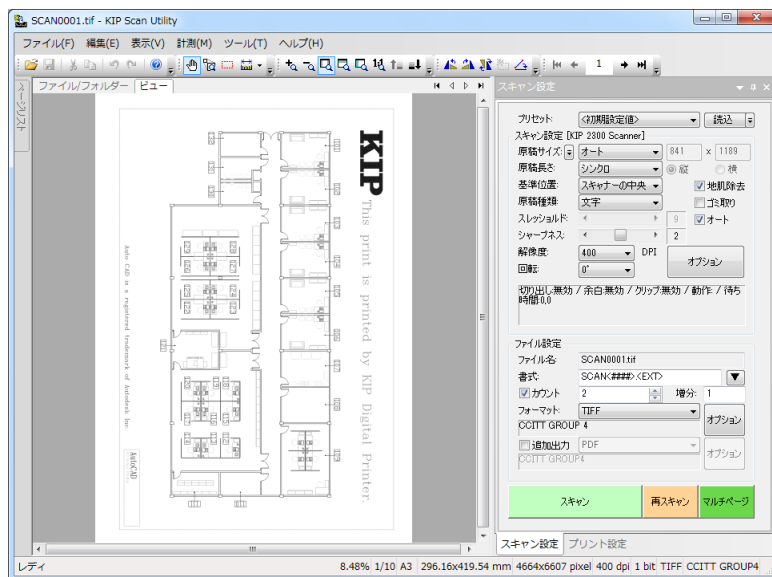
[スキャン]ボタンをクリックして原稿を読み込みます。



8. 《画像の保存》

必要なページのスキャンが完了したら、[マルチページ]ボタンをクリックします。ボタンは通常の状態に戻ります。

ファイル設定に従ってマルチページの形式で画像を保存します。

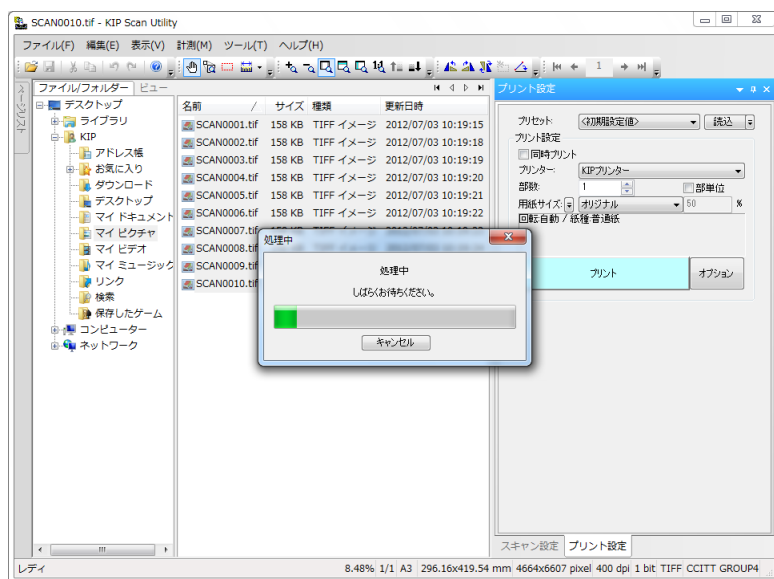


以上で、マルチページで原稿をスキャンする手順については終了です。

3. 《プリントの開始》

[プリント]ボタンをクリックします。

処理が完了するまで待機します。

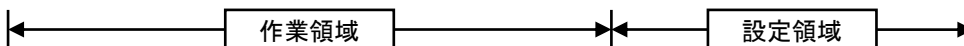
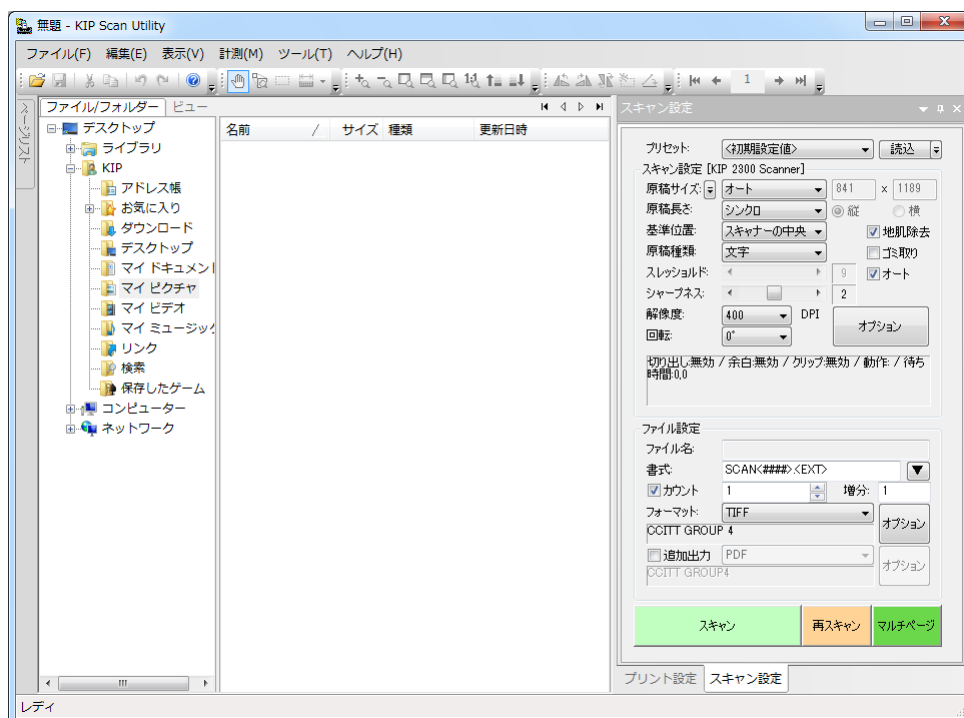


以上で、スキャン済みのファイルをプリントする手順については終了です。

第5章 機能詳細

5.1 「メインウィンドウ」の詳細

ここでは、KIP Scan Utility の「メインウィンドウ」の構成や機能の詳細について説明します。



【作業領域】

タブをクリックすることで、表示が切り替わります。

名称	説明
ファイル／フォルダー	保存先フォルダーとファイル一覧を表示します。
ビュー	スキャン後の画像を表示します。
ページリスト	表示中のファイルのページ一覧を表示します。

【設定領域】

タブをクリックすることで、表示が切り替わります。ドラッグで配置を変更することができます。

名称	説明
スキャン設定	画像のスキャンとファイルに関する設定を行ないます。
プリント設定	プリントに関する設定を行ないます。

5.1.1 「スキャン設定」画面

《プリセット》

名称	説明
プリセット	リストから保存済みのプリセットを選択します。 [読込]ボタン右側の[▼]ボタンでメニューがポップアップします。
読込	選択中のプリセットで「スキャン設定」「ファイル設定」を初期化します。
保存	現在の設定でプリセットを保存します。
削除	選択中のプリセットを削除します。

※「カウント」の値はプリセットを読み込んでも変化しません。

《スキャン設定》

名称	説明
原稿サイズ	リストからスキャンする用紙サイズを選択します。 スキャナーの種類により選択可能なサイズは異なります。
	KIP 720 / KIP 2200 項目名の右側の[▼]ボタンでメニューがポップアップします。 メニューから設定済みの「スキャン用紙サイズ」を切り替えられます。
オート	用紙サイズテーブルから、スキャナーが検知した原稿幅に見合うサイズを自動的に選択します。

名称	説明	
原稿サイズ	任意サイズ	スキャナーにセットした原稿の大きさに関わらず、任意の幅と高さを使用します。
	設定した名称	「スキャン用紙サイズ」で設定した幅と高さを使用します。
	KIP 2300 項目名の右側の[▼]ボタンでメニューがポップアップします。 メニューから設定済みの「スキャン用紙サイズ」を切り替えられます。	
	オート	用紙サイズテーブルから、スキャナーが検知した原稿幅に見合うサイズを自動的に選択します。
	任意サイズ	スキャナーにセットした原稿の大きさに関わらず、任意の幅と高さを使用します。
	検知サイズ	画像の幅をスキャナーが検知した幅に合わせます。
	設定した名称	「スキャン用紙サイズ」で設定した幅と高さを使用します。
原稿長さ	読み込む原稿の長さ選択します。	
	シンクロ	画像の高さを原稿の長さに合わせます。
	定形	画像の高さを「スキャン用紙サイズ」や「任意サイズ」などの固定の高さに合わせます。
基準位置	リストから基準となる原稿の位置を選択します。※KIP 2300 のみ	
	スキャナー中央	スキャナーの中央から原稿の左右位置を参照して、幅を決定します。画像は、スキャナーの中央から決定した幅で切り出されます。原稿はスキャナーの中央に合わせます。
	原稿の中央	原稿の幅を基準にスキャン幅を決定します。画像は、原稿の中央から決定した幅で切り出されます。スキャナーのどこに入れても「同じ画素数の幅」でスキャンが可能です。
	原稿の右	原稿の右の位置を参照して、幅を決定します。画像は、スキャナーの中央から決定した幅で切り出されます。原稿はスキャナーの右側の線に合わせます。
	原稿の左	原稿の左の位置を参照して、幅を決定します。画像は、スキャナーの中央から決定した幅で切り出されます。原稿はスキャナーの左側の線に合わせます。
原稿種類	リストから原稿種類の「文字」「文字／写真」「写真」を選択します。	
地肌除去	スキャナーの「地肌除去」機能を有効にします。	
ゴミ取り	スキャナーの「ゴミ取り」機能を有効にします。	

名称	説明
スレッシュホールド	原稿のスキャン濃度を調整します。(1～17) 「オート」を有効にした場合は、スキャナーが濃度を調整します。
シャープネス	スキャナーの「シャープネス」機能を調整します。(1～5)
解像度	スキャンの解像度を選択します。100～2400dpi
回転	画像の回転角度を選択します。「0°」「右 90°」「左 90°」「180°」
[オプション]	オプション画面を表示します。 オプションで設定した内容はスキャン設定画面に表示します。

《ファイル設定》

名称	説明	
ファイル名	ファイルリストで選択したファイル名を表示します。	
書式	ファイル名の書式を設定します。 [▼]ボタンでメニューがポップアップします。 メニューからマクロ文字が挿入できます。	
	マクロ文字	置換
	<#####>	カウントで設定した番号に置き換わります。 “#”の数で最小の桁数を調整します。
	<EXT>	フォーマットに対応した拡張子に置き換わります。 通常は小文字です。メニュー【拡張子を大文字】にチェックを付けた場合、大文字になります。 メニュー【拡張子を自動挿入】にチェックが付けた場合、省略可能です。
	<DATE>	コンピューターの日付に置き換わります。 YYYYMMDD の書式です。
	<TIME>	コンピューターの時間に置き換わります。 HHMMSS の書式です。
	<USERNAME>	ログオンユーザー名
	<HOSTNAME>	コンピューター名
カウント	マクロ文字<#####>で使用する番号を設定します。 スキャンが完了すると「増分」の値だけ番号が更新します。	
増分	スキャン後のカウント増分を設定します。正および負の値が設定可能です。	
フォーマット	画像ファイルの保存形式を選択します。 「TIFF」「PDF」が選択可能です。	
追加出力	チェックを付けた場合、設定したフォーマットで、追加のファイルを生成します。	
[オプション]	フォーマット毎のオプション画面を表示します。 オプションで設定した内容はファイル設定画面に表示します。 通常のフォーマットと追加出力のフォーマットで別々の設定が可能です。	

《その他》

名称	説明
[スキャン]	原稿のスキャンを開始します。
[再スキャン]	クリックする毎に有効と無効が切り替わります。 有効の状態でスキャンが完了すると、ファイルリストで選択したファイル名で上書きします。
[マルチページ]	クリックする毎に有効と無効が切り替わります。 有効の状態でスキャンを実行し、無効に切り替えるとマルチページのファイルを生成します。

【「オプション - スキャン設定」画面】

スキャン設定で[オプション]ボタンをクリックすると表示します。

名称	説明	
切り出し	チェックを付けた場合、有効になります。 設定した位置(先端、左)からサイズに指定した大きさを切り出しを行ないます。	
余白	チェックを付けた場合、有効になります。 上下左右に余白を付加します。正と負の値が設定可能です。 負の値を設定した場合は、画像が小さくなります。 設定に合わせて画像の幅と長さは変化します。	
クリップ	チェックを付けた場合、有効になります。 上下左右の画像を白でクリップします。正の値のみ設定可能です。 画像の幅と長さは変化しません。	
機能	ミラー	チェックを付けた場合、画像は左右反転します。
	ネガ	チェックを付けた場合、画像は白黒反転します。
動作	連続スキャン	チェックを付けた場合、原稿のスキャン終了後に、続けて原稿を要求します。
	低速モード	チェックを付けた場合、原稿の搬送速度が低速モードに切り替わります。 ※KIP 720 のみ
待ち時間	スタート	原稿の挿入を検知してから、スキャンを開始するまでの時間を設定します。
	原稿待ち	[スキャン]ボタンなどで原稿待ちの状態になってから、自動的に原稿待ちをキャンセルするまでの時間を設定します。

【「TIFF オプション - ファイル設定」画面】

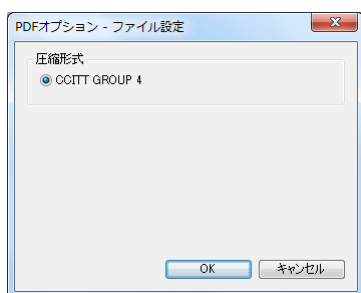
ファイル設定で[オプション]ボタンをクリックすると表示します。



名称	説明
圧縮形式	画像の圧縮形式を選択します。

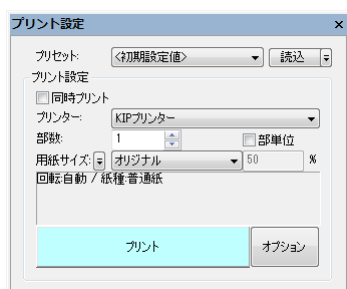
【「PDF オプション - ファイル設定」画面】

ファイル設定で[オプション]ボタンをクリックすると表示します。



名称	説明
圧縮形式	画像の圧縮形式を選択します。

5.1.2 「プリント設定」画面



《プリセット》

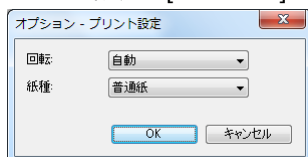
名称	説明	
プリセット	リストから保存済みのプリセットを選択します。 [読込]ボタン右側の[▼]ボタンでメニューがポップアップします。	
	読込	選択中のプリセットで「プリント設定」を初期化します。
	保存	現在の設定でプリセットを保存します。
	削除	選択中のプリセットを削除します。

《プリント設定》

名称	説明
同時プリント	チェックを付けた場合、ファイルの保存と同時にプリントを実行します。
プリンター	印刷先のプリンターをリストから選択します。 リストは【ツール】-【プリンター設定】で修正が可能です。
部数	印刷する部数を設定します。
用紙サイズ	出力する用紙サイズをリストから選択します。 「オリジナル」「倍率」が指定可能です。 右側の[▼]ボタンでメニューがポップアップします。 メニューから設定済みの「用紙サイズ」を切り替えられます。
[オプション]	オプション画面を表示します。 オプションで設定した内容はプリント設定画面に表示します。
[プリント]	ファイルリストで選択したファイルの印刷を実行します。

【「PDF オプション - ファイル設定」画面】

ファイル設定で[オプション]ボタンをクリックすると表示します。



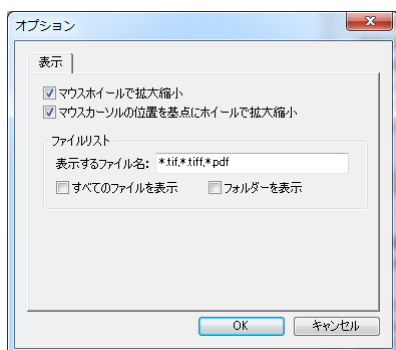
名称	説明
回転	回転角度を設定します。
紙種	紙種を設定します。

5.2 「オプション」画面の詳細

ここでは、「オプション」画面の構成や機能の詳細について説明します。

この画面は、メニューバーの【ツール】-【オプション】を選択することで表示します。

表示や動作などの設定を変更します。



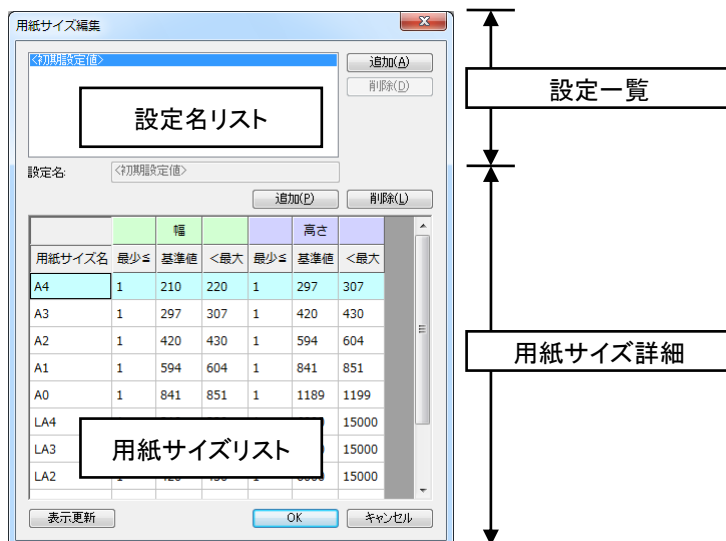
名称	機能
[OK]	設定した内容で更新して、「オプション」画面を閉じます。
[キャンセル]	設定した内容を破棄して、「オプション」画面を閉じます。
マウスホイールで拡大縮小	チェックを付けると、マウスホイールの回転に合わせて、拡大縮小します。奥に回転させると拡大、手前に回転させると縮小します。チェックを外すと、マウスホイールの回転に合わせて、上下にスクロールします。奥に回転させると上へ、手前に回転させると下へスクロールします。
マウスカーソルの位置を基点にホイールで拡大縮小	マウスホイールで拡大縮小する場合の基点を設定します。チェックを付けると、マウスカーソルの位置を基点にします。チェックを外すと、表示エリアの中心を基点にします。
ファイルリスト	
表示するファイル名	ファイルリストに表示するファイル名を設定します。ワイルドカード(*,?)の記述が可能です。通常は拡張子を設定します。複数のファイル名を設定する場合は、カンマで区切ります。初期値: *.tif, *.tiff, *.pdf
すべてのファイルを表示	チェックを付けると、ファイルリストにすべてのファイルを表示します。
フォルダーを表示	チェックを付けると、ファイルリストにフォルダーも表示します。

5.3 「用紙サイズ編集」画面の詳細

ここでは、「用紙サイズ編集」画面の構成や機能の詳細について説明します。

この画面は、メニューバーの【ツール】-【用紙サイズ編集】を選択することで表示します。

この設定は、ステータスバーに表示する「用紙サイズ名」やプリント設定の用紙サイズで使用します。



《設定一覧》

名称	機能
設定名リスト	用紙サイズ設定名の一覧を表示します。 ここで選択した設定を用紙サイズ詳細に表示します。
[追加]	用紙サイズ設定を追加します。
[削除]	選択している用紙サイズ設定を削除します。 設定名「<初期設定値>」を削除することはできません。

《用紙サイズ詳細》

名称	機能
用紙サイズリスト	設定した用紙サイズの詳細を表示します。 用紙サイズを判断するための幅と高さを設定します。
設定名	用紙サイズの設定名を入力します。 ファイル名に使用できない文字(" ¥ < > * ? / :)は使用できません。 設定名「<初期設定値>」を変更することはできません。
[追加]	用紙サイズリストの最後に行を追加します。
[削除]	選択している(背景が水色)用紙サイズを削除します。
[表示更新]	「用紙サイズリスト」をソートして表示を更新します。
[OK]	「用紙サイズリスト」をソートし、設定した内容で更新して、「用紙サイズ編集」画面を閉じます。
[キャンセル]	設定した内容を破棄して、「用紙サイズ編集」画面を閉じます。

■ ソートの順番

用紙サイズは、以下のルールで自動的にソートします。

任意の順番に変更することはできません。

1. 「高さの最大値」を比較して小さい順にソートします。
2. 「高さの最大値」が同じ場合は、「幅の最大値」を比較して小さい順にソートします。
3. 「幅の最大値」が同じ場合は、「用紙サイズ名」を比較して小さい順にソートします。

5.3.1 用紙サイズリスト

用紙サイズを判断するための幅と高さを設定します。

名称	説明
用紙サイズ名	用紙サイズの名称を設定します。 設定した値は、ステータスバーに表示する用紙サイズ名となります。 設定した値は、プリント設定の用紙サイズに表示します。
幅	最小 ≤
	基準値
	< 最大
高さ	最小 ≤
	基準値
	< 最大

※必ず縦置き「幅 ≤ 高さ」になるように設定してください。

5.3.2 用紙サイズの判断について

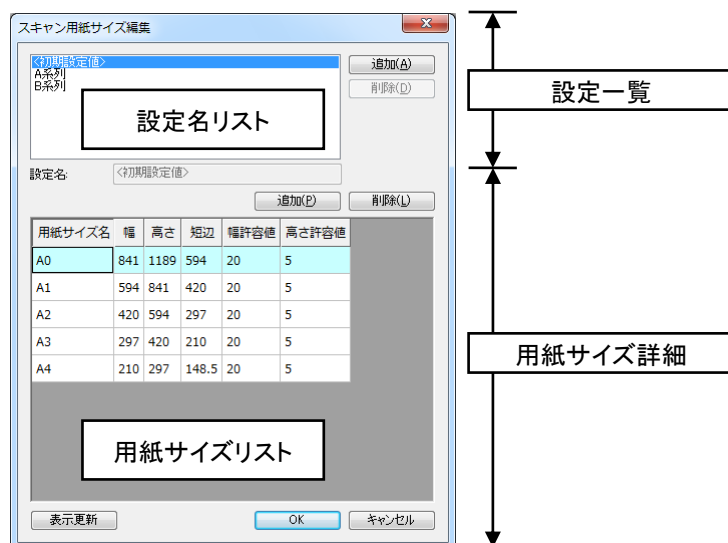
用紙サイズの判断は、「用紙サイズリスト」の上から順番に確認をして、最初に見つかった用紙サイズ名が適用されます。

■処理の詳細

1. 画像の向き(縦置き,横置き)を判断します。
短辺を「幅」、長辺を「高さ」として扱います。
2. 「用紙サイズリスト」の上から順に確認し、最初に以下の二つの条件を満たした用紙サイズ名が、画像の用紙サイズとして適用されます。
 - a. 幅の最小値 $\leq$ 「幅」 $<$ 幅の最大値であること
 - b. 高さの最小値 $\leq$ 「高さ」 $<$ 高さの最大値であること

5.4 「スキャン用紙サイズ編集」画面の詳細

ここでは、「スキャン用紙サイズ編集」画面の構成や機能の詳細について説明します。
この画面は、メニューバーの【ツール】-【スキャン用紙サイズ編集】を選択することで表示します。
この設定は、スキャン設定の用紙サイズで使用します。



《設定一覧》

名称	機能
設定名リスト	スキャン用紙サイズ設定名の一覧を表示します。 ここで選択した設定を用紙サイズ詳細に表示します。
[追加]	スキャン用紙サイズ設定を追加します。
[削除]	選択しているスキャン用紙サイズ設定を削除します。 設定名「<初期設定値>」を削除することはできません。

《用紙サイズ詳細》

名称	機能
用紙サイズリスト	設定した用紙サイズの詳細を表示します。
設定名	用紙サイズの設定名を入力します。 ファイル名に使用できない文字(" ¥ < > * ? / :)は使用できません。 設定名「<初期設定値>」を変更することはできません。
[追加]	用紙サイズリストの最後に行を追加します。
[削除]	選択している(背景が水色)用紙サイズを削除します。
[表示更新]	「用紙サイズリスト」をソートして表示を更新します。
[OK]	「用紙サイズリスト」をソートし、設定した内容で更新して、「用紙サイズ編集」画面を閉じます。
[キャンセル]	設定した内容を破棄して、「用紙サイズ編集」画面を閉じます。

■ ソートの順番

用紙サイズは、以下のルールで自動的にソートします。

任意の順番に変更することはできません。

1. 「幅」を比較して大きい順にソートします。
2. 「幅」が同じ場合は、「高さ」を比較して大きい順にソートします。
3. 「幅」と「高さ」が同じ場合は、「用紙サイズ名」を比較して小さい順にソートします。

5.4.1 用紙サイズリスト

スキャン用紙サイズを判断するための幅と高さを設定します。

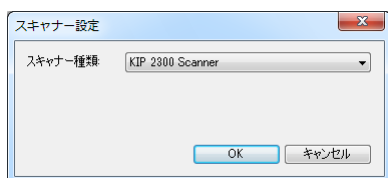
名称	説明
用紙サイズ名	用紙サイズの名称を設定します。 設定した値は、ステータスバーに表示する用紙サイズ名となります。 設定した値は、プリント設定の用紙サイズに表示します。
幅	幅の基準値をミリメートルで設定します。
高さ	縦置きの場合の高さの基準値をミリメートルで設定します。
短辺	横置きの場合の高さの基準値をミリメートルで設定します。
幅許容値	幅の許容値を設定します。 スキャン設定の原稿サイズで「オート」を選択した場合に有効です。
高さ許容値	短辺の許容値を設定します。 スキャン設定の原稿長さで「定型」を選択した場合に有効です。

5.5 「スキャナー設定」画面の詳細

ここでは、「スキャナー設定」画面の構成や機能の詳細について説明します。

この画面は、メニューバーの【ツール】-【スキャナー設定】を選択することで表示します。

使用するスキャナーの種類を切り替えます。



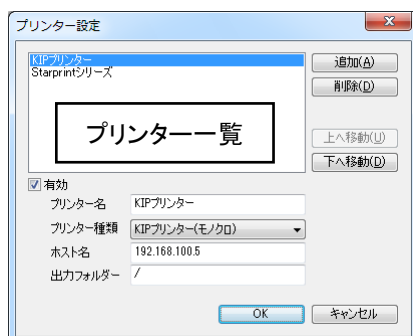
名称	機能
スキャナー種類	使用するスキャナーの種類を選択します。
[OK]	設定した内容で更新して、「スキャナー設定」画面を閉じます。
[キャンセル]	設定した内容を破棄して、「スキャナー設定」画面を閉じます。

5.6 「プリンター設定」画面の詳細

ここでは、「プリンター設定」画面の構成や機能の詳細について説明します。

この画面は、メニューバーの【ツール】-【プリンター設定】を選択することで表示します。

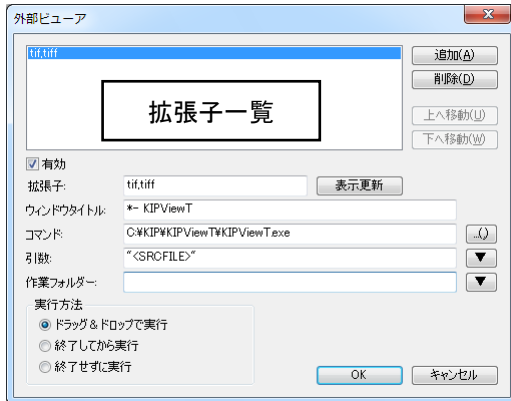
使用するプリンターの種類や転送先を設定します。



名称	機能
プリンター一覧	設定したプリンターのリストを表示します。 表示している順番でプリント設定の「プリンター」を更新します。
[追加]	新規にプリンターを追加します。
[削除]	「プリンター一覧」で選択しているプリンターをリストから削除します。
[上へ移動]	「プリンター一覧」で選択しているプリンターの位置を上に移動します。
[下へ移動]	「プリンター一覧」で選択しているプリンターの位置を下に移動します。
有効	プリンターの有効無効を設定します。 チェックを外した場合は無効となり、プリンター設定の「プリンター」には表示しません。
プリンター名	プリンター設定の「プリンター」に表示する名前を入力します。
プリンター種類	使用するプリンターの種類を選択します。 「KIP プリンター(モノクロ)」「Starprint シリーズ」が選択できます。
ホスト名	プリンターの IP アドレスまたはホスト名を入力します。
出力フォルダー	プリンターの転送先フォルダーを入力します。 通常は “/” または “/Auto/Direct” を入力します。
[OK]	設定した内容で更新して、「プリンター設定」画面を閉じます。
[キャンセル]	設定した内容を破棄して、「プリンター設定」画面を閉じます。

5.7 「外部ビューア」画面の詳細

ここでは、「外部ビューア」画面の構成や機能の詳細について説明します。
この画面は、メニューバーの【ツール】-【外部ビューア】を選択することで表示します。
拡張子別に実行するビューアを設定します。



名称	機能
拡張子一覧	設定した拡張子のリストを表示します。 表示している順番で優先的に実行します。
[追加]	新規に拡張子を追加します。
[削除]	「拡張子一覧」で選択している拡張子をリストから削除します。
[上へ移動]	「拡張子一覧」で選択している拡張子の位置を上に移動します。
[下へ移動]	「拡張子一覧」で選択している拡張子の位置を下に移動します。
有効	拡張子の有効無効を設定します。 チェックを外した場合は無効となり、設定したビューアは実行しません。
拡張子	ビューアと関連付ける拡張子を入力します。 カンマ区切りで複数の設定が可能です。
[表示更新]	設定した内容で表示を更新します。
ウィンドウタイトル	外部ビューアとして識別するウィンドウタイトルを入力します。 ワイルドカード(*?)の入力が可能です。
コマンド	起動する外部ビューアのファイル名を入力します。 入力ボックスの右にある[...(.)]ボタンをクリックすると「ファイルを開く」画面を表示しますので、ファイルを選択して指定することも可能です。

名称	機能										
引数	外部ツールの起動時に使用する引数を指定します。 引数を使用しない場合は、空欄にします。 入力ボックスの右にある[▼]ボタンをクリックすると、定義済みのマクロ文字を挿入するためのメニューを表示します。 <table> <tr> <th>名称</th><th>説明</th></tr> <tr> <td>選択したファイル名</td><td><SRCFILE> ファイルリストで選択したファイル名</td></tr> <tr> <td>選択したフォルダー名</td><td><SRCDIR> フォルダーツリーで選択したフォルダー名</td></tr> <tr> <td>コマンドのフォルダー名</td><td>「コマンド」に指定したファイル名から取得</td></tr> <tr> <td>KIP Scan Utility の実行フォルダー名</td><td><APPPATH> KIP Scan Utility の実行フォルダー名</td></tr> </table>	名称	説明	選択したファイル名	<SRCFILE> ファイルリストで選択したファイル名	選択したフォルダー名	<SRCDIR> フォルダーツリーで選択したフォルダー名	コマンドのフォルダー名	「コマンド」に指定したファイル名から取得	KIP Scan Utility の実行フォルダー名	<APPPATH> KIP Scan Utility の実行フォルダー名
名称	説明										
選択したファイル名	<SRCFILE> ファイルリストで選択したファイル名										
選択したフォルダー名	<SRCDIR> フォルダーツリーで選択したフォルダー名										
コマンドのフォルダー名	「コマンド」に指定したファイル名から取得										
KIP Scan Utility の実行フォルダー名	<APPPATH> KIP Scan Utility の実行フォルダー名										
作業フォルダー	外部ビューアの起動時のフォルダー名を入力します。(空欄可) 入力ボックスの右にある[▼]ボタンをクリックすると、定義済みのマクロ文字を挿入するためのメニューを表示します。 <table> <tr> <th>名称</th><th>説明</th></tr> <tr> <td>コマンドのフォルダー名</td><td>「コマンド」に指定したファイル名から取得</td></tr> <tr> <td>KIP Scan Utility の実行フォルダー名</td><td><APPPATH> KIPViewT の実行フォルダー名</td></tr> </table>	名称	説明	コマンドのフォルダー名	「コマンド」に指定したファイル名から取得	KIP Scan Utility の実行フォルダー名	<APPPATH> KIPViewT の実行フォルダー名				
名称	説明										
コマンドのフォルダー名	「コマンド」に指定したファイル名から取得										
KIP Scan Utility の実行フォルダー名	<APPPATH> KIPViewT の実行フォルダー名										
実行方法	外部ビューアの実行方法を指定します。 <table> <tr> <td>ドラッグ&ドロップで実行</td><td>ウィンドウタイトルに指定したウィンドウが見つかった場合は、ドラッグ&ドロップでファイルを渡します。見つからない場合は、コマンドに指定したビューアを起動します。</td></tr> <tr> <td>終了してから実行</td><td>ウィンドウタイトルに指定したウィンドウが見つかった場合は、そのウィンドウを閉じてからビューアを起動します。</td></tr> <tr> <td>終了せずに実行</td><td>コマンドに指定したビューアを常に起動します。</td></tr> </table>	ドラッグ&ドロップで実行	ウィンドウタイトルに指定したウィンドウが見つかった場合は、ドラッグ&ドロップでファイルを渡します。見つからない場合は、コマンドに指定したビューアを起動します。	終了してから実行	ウィンドウタイトルに指定したウィンドウが見つかった場合は、そのウィンドウを閉じてからビューアを起動します。	終了せずに実行	コマンドに指定したビューアを常に起動します。				
ドラッグ&ドロップで実行	ウィンドウタイトルに指定したウィンドウが見つかった場合は、ドラッグ&ドロップでファイルを渡します。見つからない場合は、コマンドに指定したビューアを起動します。										
終了してから実行	ウィンドウタイトルに指定したウィンドウが見つかった場合は、そのウィンドウを閉じてからビューアを起動します。										
終了せずに実行	コマンドに指定したビューアを常に起動します。										
[OK]	設定した内容で更新して、「プリンター設定」画面を閉じます。										
[キャンセル]	設定した内容を破棄して、「プリンター設定」画面を閉じます。										

付録

FAQ

ここでは、KIP Scan Utility に関してよくある疑問についてまとめています。

Q1. カラーの原稿はスキャンできますか？

Q2. PDF が KIP Scan Utility で読み込めません

Q3. 画面に「機能限定モード」と表示されます。

Q1 カラーの原稿はスキャンできますか？

A1 できません。

カラーの原稿をスキャンする場合は、KIP Color Pro をご利用ください。

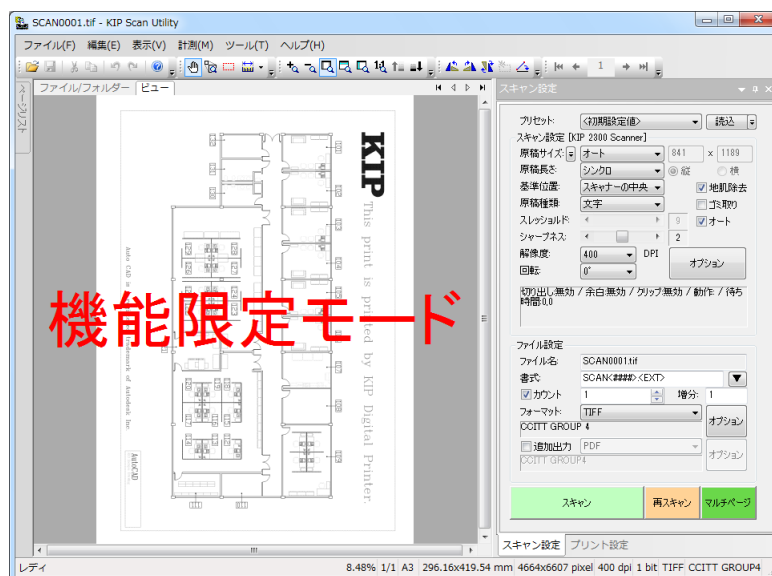
Q2 PDF が KIP Scan Utility で読み込めません

A2 KIP Scan Utility が作成した PDF のみを読み込むことが可能です。

他のアプリケーションで作成した PDF を読み込むことはできません。

Q3 画面に「機能限定モード」と表示されます。

A3 KIP スキャナーと接続できない場合、KIP Scan Utility は機能限定モードになります。
KIP スキャナーと PC が接続された状態で起動してください。
機能限定モード中は、ファイルの保存、画像ビューに制限がかかります。



<空白ページ>

お問い合わせ先

内容についてのお問い合わせは本社へ、製品に関するお問い合わせは桂川電機株式会社なら
びに株式会社ケイアイピーまでお願いいたします。

桂川電機株式会社

〒146-8585 東京都大田区下丸子 4 丁目 21 番 1 号
TEL (03) 3756-1100(代) FAX (03) 3758-8384

株式会社ケイアイピー

本社	／	〒146-0093 東京都大田区矢口 1 丁目 5 番 1 号 TEL (03) 3756-1101(代) FAX (03) 3756-1106
大阪支店	／	〒540-0024 大阪市中央区南新町 1 丁目 2 番 4 号 TEL (06) 6910-6105(代) FAX (06) 6910-6109
名古屋営業所	／	〒464-0858 名古屋市千種区千種 3 丁目 29 番 14 号 TEL (052) 741-0015(代) FAX (052) 741-0018
北関東営業所	／	〒323-0829 栃木県小山市東城南 4 丁目 28 番 3 号 TEL (0285) 31-1172(代) FAX (0285) 27-1909
九州営業所	／	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 1 丁目 14 番 3 号 TEL (092) 412-0911(代) FAX (092) 412-0912

営業日	: 月曜日から金曜日まで(祝祭日を除く)
お問い合わせ時間	: 午前 9:00 より午後 5:00 まで

<空白ページ>

KIP Scan Utility 取扱説明書

発行日 平成 24 年 7 月 12 日

第 5 版

発行所 桂川電機株式会社

〒146-8585 東京都大田区下丸子 4 丁目 21 番 1 号

TEL (03) 3756-1100

FAX (03) 3758-8384
